

没後30年

香月泰男展 <私の>シベリア、そして<私の>地球

主催：静岡県立美術館、朝日新聞社、NHK静岡放送局

特別協力：山口県立美術館

協力：香月家、三隅町立香月美術館

会期：平成16年11月2日(火)～12月12日(日)

休館日：毎週月曜日

観覧料：一般・大学生 900円(700円)

小・中・高生 400円(300円)

70歳以上無料

※()内は20名以上の団体料金及び前売料金

<シベリア・シリーズ>で知られる洋画家・香月泰男の没後30年を記念した回顧展。香月は、1911年(明治44)、山口県三隅町に生まれた。東京美術学校を卒業後、北海道の倶知安中学校、下関高等女学校で美術教師を務めながら、美術評論家の福島繁太郎と知り合い、国画会展や文部省美術展に出品した。画家として認められ始めた1943年、召集されて中国東北地方へ行き、海拉爾(ハイラル)に駐屯、45年8月の敗戦でシベリアの収容所に送られ、47年5月に帰国するまで飢餓と強制労働、酷寒の生活を強いられた。ここでの体験が、帰国後にライフワークとして制作される、代表作

<シベリア・シリーズ>に結実した。

また、三隅町では、<シベリア・シリーズ>の制作のかたわら、故郷の自然や風景、身近な家族、動植物を愛情あふれる視線で捉えた。本展では、初期から晩年までの油彩画、水彩素描、陶画、おもちゃ、テラコッタなど約180点で香月の芸術を紹介することに努めた。

■関連記事

朝日新聞 11月2日付「きょうから香月泰男展 県立美術館 内覧会に200人」

朝日新聞 11月9日付「没後30年 香月泰男展から① 冬島」 県立美術館学芸員 泰井 良

朝日新聞 11月10日付「没後30年 香月泰男展から② 涅槃」 県立美術館学芸員 泰井 良

朝日新聞 11月12日付「没後30年 香月泰男展から③ 水鏡」 県立美術館学芸員 川谷承子

朝日新聞 11月16日付「没後30年 香月泰男展から④ 休憩(アームチェア)」 県立美術館学芸員 川谷承子

朝日新聞 11月17日付「没後30年 香月泰男展から⑤ <私の>地球」 県立美術館学芸員 川谷承子

朝日新聞 11月17日付「作品背景にある過酷な体験語る「香月展」で立花隆さん」

中日新聞 12月10日付「シベリア抑留体験 独自技法で描く 静岡で香月泰男展」



▲ ポスター



▲ カタログ

■関連事業

美術講演会

「命をかけた画家～香月泰男の生涯」

11月3日(水・祝 文化の日) 午後2時～3時30分

当館講堂

講師 坂倉秀典氏(三隅町立香月美術館館長)

特別講演会

「香月泰男とシベリア・シリーズ」

11月16日(火) 午後2時～3時30分 当館講堂

講師 立花隆氏(評論家)

学芸員によるフロアレクチャー

11月14日(日)、28日(日)、12月5日(日) 午後2時～

展示室